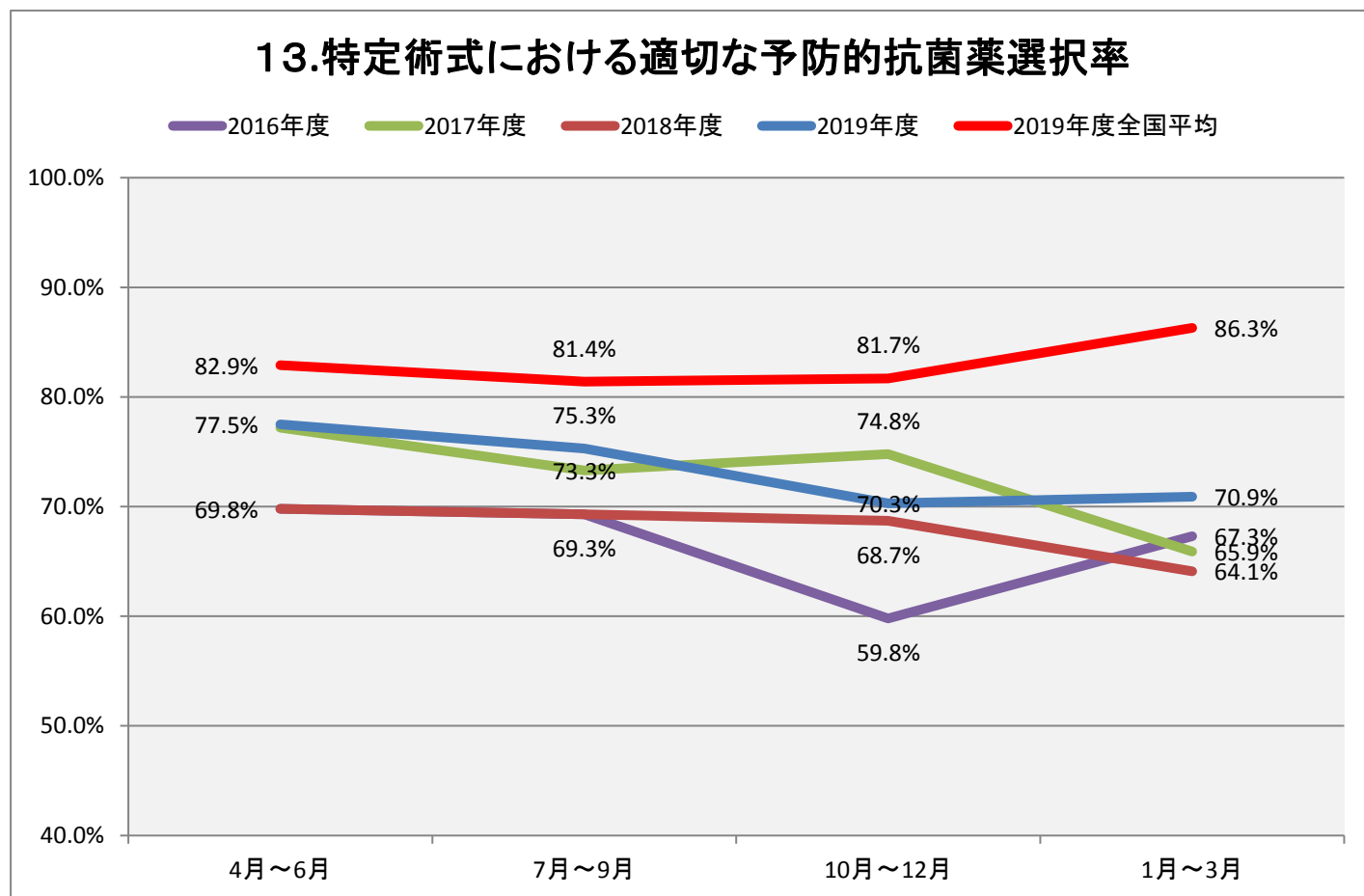


13.特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率

(1)調査結果



調査期間	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
2019年度	77.5%	75.3%	70.3%	70.9%
2018年度	69.8%	69.3%	68.7%	64.1%
2017年度	77.2%	73.3%	74.8%	65.9%
2016年度	69.8%	69.3%	59.8%	67.3%
2019年度全国平均	82.9%	81.4%	81.7%	86.3%

(2) 指標の説明 手術後に、手術部位感染が発生すると、入院期間が延長し、入院医療費が増大します。その予防策の一つとして、手術前後の抗菌薬投与があります。手術開始から終了後2～3時間まで、体内の抗菌薬濃度を適切に保つことで、感染を予防できる可能性が高くなります。

(3) 定義 分子: 術式ごとに適切な予防的抗菌薬が選択された手術件数
分母: 特定術式の手術件数

※特定術式・・・股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、大腸手術、子宮全摘除術、冠動脈バイパス手術、その他の心臓手術、血管手術